

自律の気概あふれる まちをめざして

～ この町に誇りと愛着を持って
皆さんの知恵を行動に ～

企画振興課 ☎526552 有線⑤8963

3月に開催しました第4回自律のまちづくり住民懇話会では、前回の各委員からのまちづくりへの思いや提言に対して、町長から自律のまちづくりへの考えを述べました。

住民のくらしを守り

福祉の増進をめざして

町は、住民のくらしを守り、福祉の増進を図る役割を担っています。どう実現していくのかは、自律のまちづくりの原点である「自分たちの町のことは自分たちで決めていく」という自治を貫くことにより見出すことができます。

日野町は、豊かな自然や歴史と文

化が育まれてきたまちです。そして、多くの住民の皆さんが町に対する誇りと愛着をもっておられます。

また、行政に頼らず、自分たちのことは自分たちでやるという、各地域での自主的な活動が展開されています。こうした気風と住民の皆さんの英知を集め、自律のまちづくりを進めることが大切です。町は、このために地域の良さを再確認し、実感できる取り組みや、人のつながりを大切にする地域づくりを進めていきます。

行政の担うべきことと、住民の皆さんにお願いすべきことを明らかにし、住民の主體的な取り組みによって協働を伸ばす。そんな自律のまちづくりの理念を第4次総合計画に補強するとともに、懇話会のまちづくりへの提言をふまえ、自律のまちづくり計画を策定します。

なお、委員からは、町の取り組み状況や改革内容を分かりやすく、早く明らかにしていくことについて意見があり、町からの情報提供のあり方が課題になりました。



町村合併50周年記念式典で 自律のまちづくりのヒントを見つけました

町村合併50周年記念式典は、「日野少年少女合唱団」の合唱や「スライドで振り返る50年」など心温まる手作りの式典となりました。

は、少子・高齢化社会での活力あるまちづくりのためにも最優先の課題です。

生活の質を高める施策へ

スライドでは、現在の生活に必要な道路や施設などの整備のほか、人権や社会教育などの先進的な施策を住民の皆さんとともに取り組んだことなどを振り返りました。

時代の流れとともに、日野町の行政も暮らしをサポートし、生活の質を高めるためのソフト事業を中心に展開していく時期にきています。介護や医療などの費用は、高齢化社会の進展とともに伸び続ける可能性があります。明るく元気に生活し、できる限り健康を保てる施策を充実していく必要があります。

※なお、式典で上映した「スライドで振り返る50年」は、各公民館のビデオでご覧いただけます。

まちの希望は子どもたちの輝き

式典での日野少年少女合唱団のハーモニーは心が和みました。子どもたちを見ていると元気になります。

まちづくりを考えると、子どもたちの輝きは欠かすことができませぬ。子どもたちがいきいきと、安心して育まれる地域は、全ての住民にとっても住み心地がよいといえます。

子育ての支援・教育環境の充実

